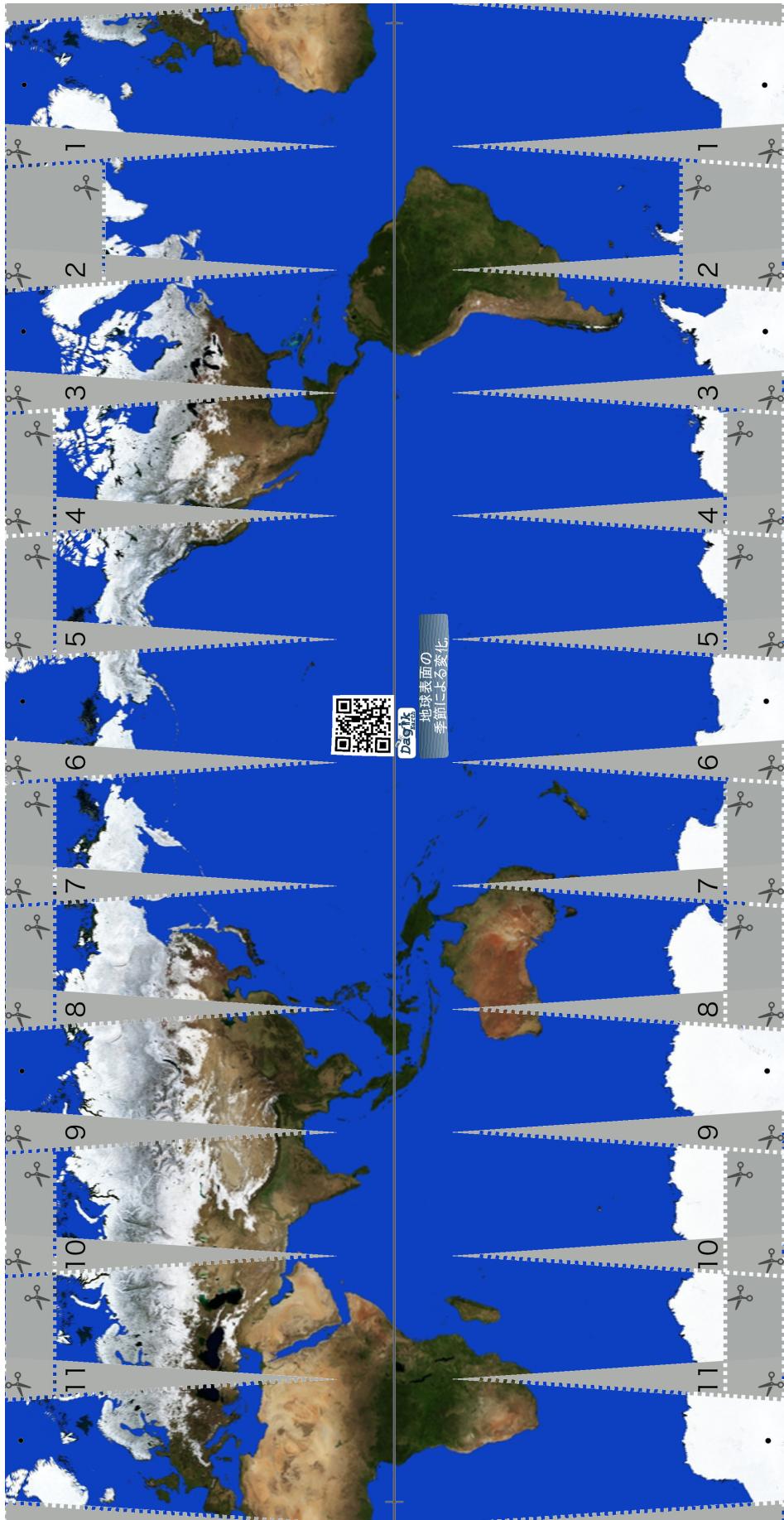



**2004年1月**

人工衛星によって観測された地表面の様子です。2004年の各月の衛星の観測画像から雲のない所だけを取り出して繋ぎ合わせています。

北極から見下ろすと、雪が積もっている白い部分が7月(北半球の夏)には小さくなり、1月(北半球の冬)には広くなっているのが分かります(北極海などの海上の氷はこの画像には含まれていません)。南極から南半球を見ると、このような雪が積もっている白い部分の変化はほとんど見られません。



地表画像: NASA Blue Marble: Next Generation (MODISによって撮影された地表画像)。

海の色は変更してあります

地表画像作成:

Reto Stockli (NASA/GSFC)

地表画像提供:

NASA Earth Observatory

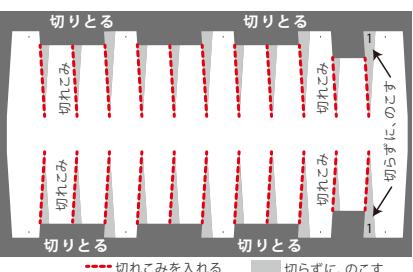
<http://earthobservatory.nasa.gov/Features/BlueMarble/>

 コンテンツ説明：<http://dagik.org/L/2>

このファイルを拡大・縮小をせずに印刷すると直径7.5cmの球に貼れるサイズになります。

### 手作り地球儀の作り方

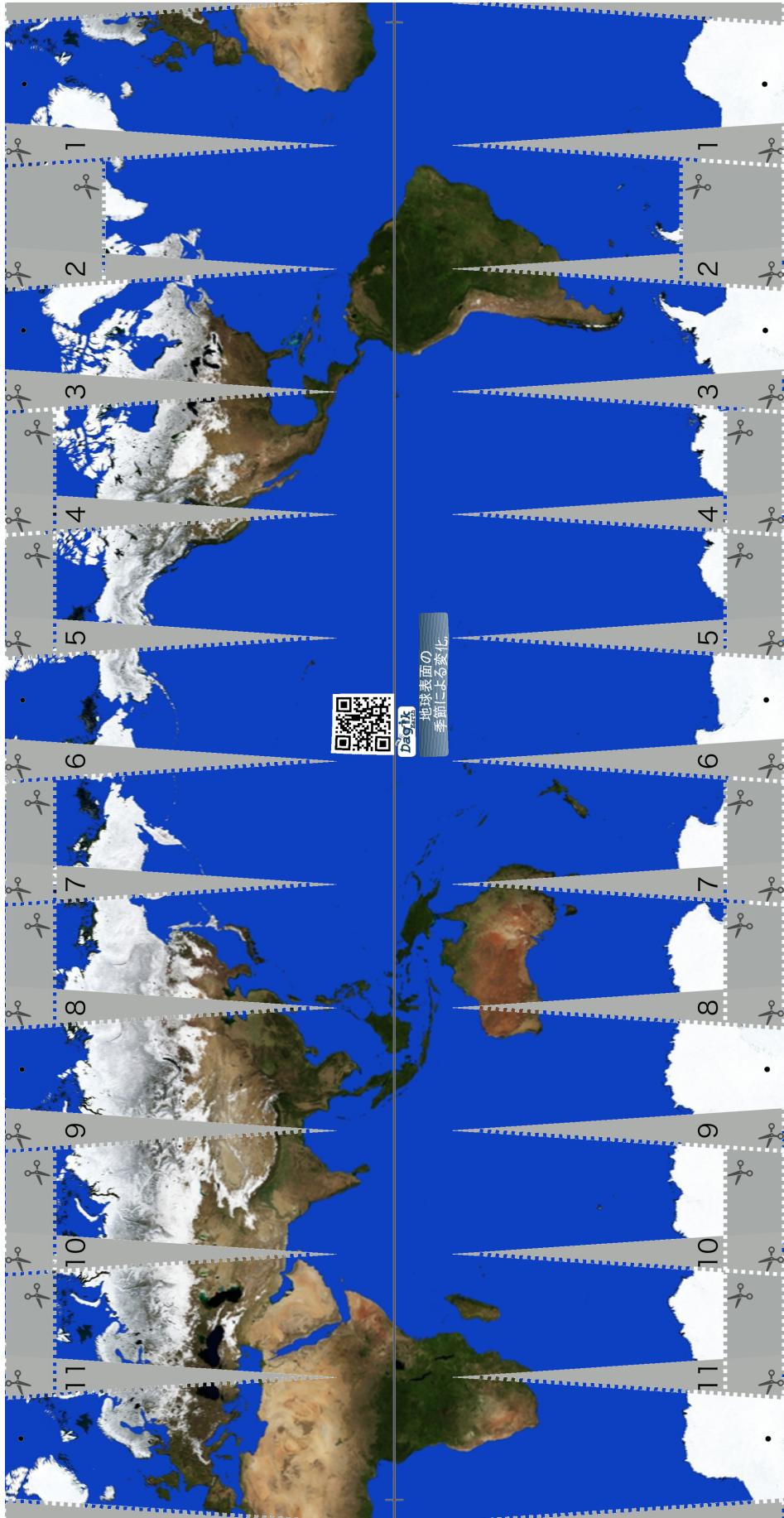
このシートの点線を切って、発泡スチロールなどの球に貼って、手作りの地球儀を作りましょう。



点線で切り取り、部分1から貼っていきます。画像の中央の線(赤道)を、球の境目に合わせるようにします。

次に、部分2を部分1の画像と合わせながら重ねて貼ります。シワは手で押さえてください。その後、順番に最後まで貼っていきましょう。

貼れました。ラベルシートの場合は、最後にシワをスプーンの後ろのようなくずしてやると、きれいになります。


**2004年2月**

人工衛星によって観測された地表面の様子です。2004年の各月の衛星の観測画像から雲のない所だけを取り出して繋ぎ合わせています。

北極から見下ろすと、雪が積もっている白い部分が7月(北半球の夏)には小さくなり、1月(北半球の冬)には広くなっているのが分かります(北極海などの海上の氷はこの画像には含まれていません)。南極から南半球を見ると、このような雪が積もっている白い部分の変化はほとんど見られません。

地表画像: NASA Blue Marble: Next Generation (MODISによって撮影された地表画像)。

海の色は変更してあります

地表画像作成:

Reto Stockli (NASA/GSFC)

地表画像提供:

NASA Earth Observatory

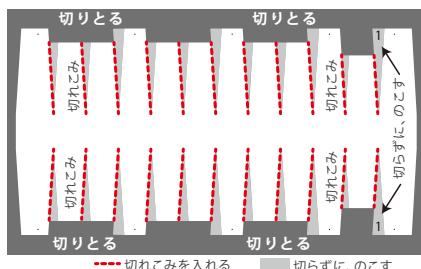
<http://earthobservatory.nasa.gov/Features/BlueMarble/>

 コンテンツ説明：<http://dagik.org/L/2>

このファイルを拡大・縮小をせずに印刷すると直径7.5cmの球に貼れるサイズになります。

### 手作り地球儀の作り方

このシートの点線を切って、発泡スチロールなどの球に貼って、手作りの地球儀を作りましょう。



点線で切り取り、部分1から貼っていきます。画像の中央の線(赤道)を、球の境目に合わせるようにします。



次に、部分2を部分1の画像と合わせながら重ねて貼ります。シワは手で押してください。その後、順番に最後まで貼っていきましょう。

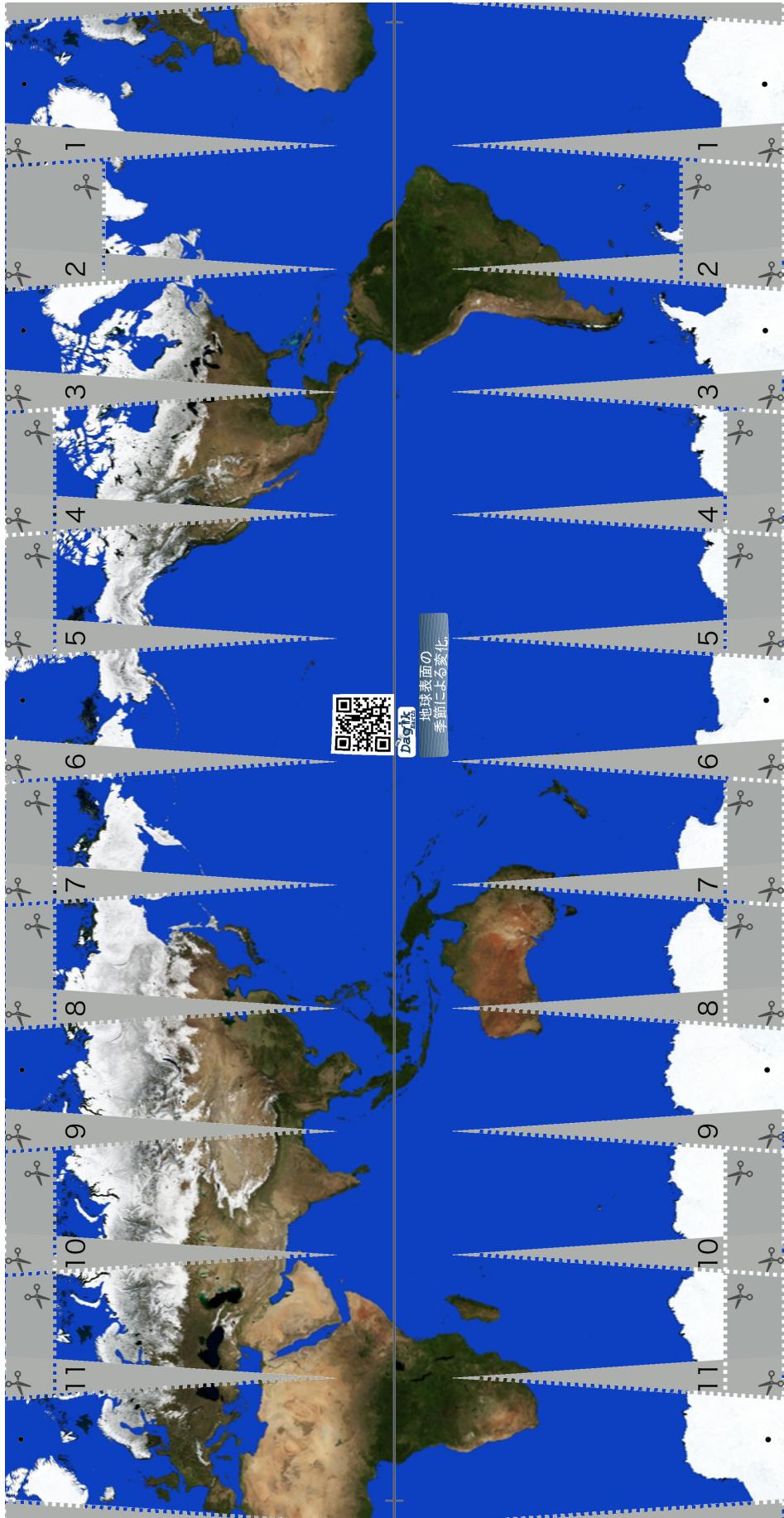


貼れました。ラベルシートの場合は、最後にシワをスプーンの後ろのようなくぼみでくしのめらかなるべくすると、きれいになります。


**2004年3月**

人工衛星によって観測された地表面の様子です。2004年の各月の衛星の観測画像から雲のない所だけを取り出して繋ぎ合わせています。

北極から見下ろすと、雪が積もっている白い部分が7月(北半球の夏)には小さくなり、1月(北半球の冬)には広くなっているのが分かります(北極海などの海上の氷はこの画像には含まれていません)。南極から南半球を見ると、このような雪が積もっている白い部分の変化はほとんど見られません。


 地球表面の  
季節による変化

地表画像: NASA Blue Marble: Next

 Generation (MODISによって  
撮影された地表画像)。

海の色は変更してあります

地表画像作成:

Reto Stockli (NASA/GSFC)

地表画像提供:

NASA Earth Observatory

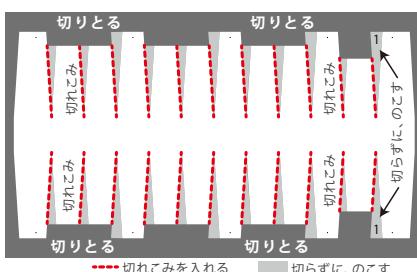
[http://earthobservatory.nasa.gov/  
Features/BlueMarble/](http://earthobservatory.nasa.gov/Features/BlueMarble/)

 コンテンツ説明：<http://dagik.org/L/2>

このファイルを拡大・縮小をせずに印刷すると直径7.5cmの球に貼れるサイズになります。

### 手作り地球儀の作り方

このシートの点線を切って、  
発泡スチロールなどの球に貼って、  
手作りの地球儀を作りましょう。



点線で切り取り、  
部分1から貼っていきます。  
画像の中央の線(赤道)を、  
球の境目に合わせるように  
します。



次に、部分2を部分1の画像と  
合わせながら重ねて貼ります。  
シワは手で押さえてください。  
その後、順番に最後まで貼つ  
ていきましょう。

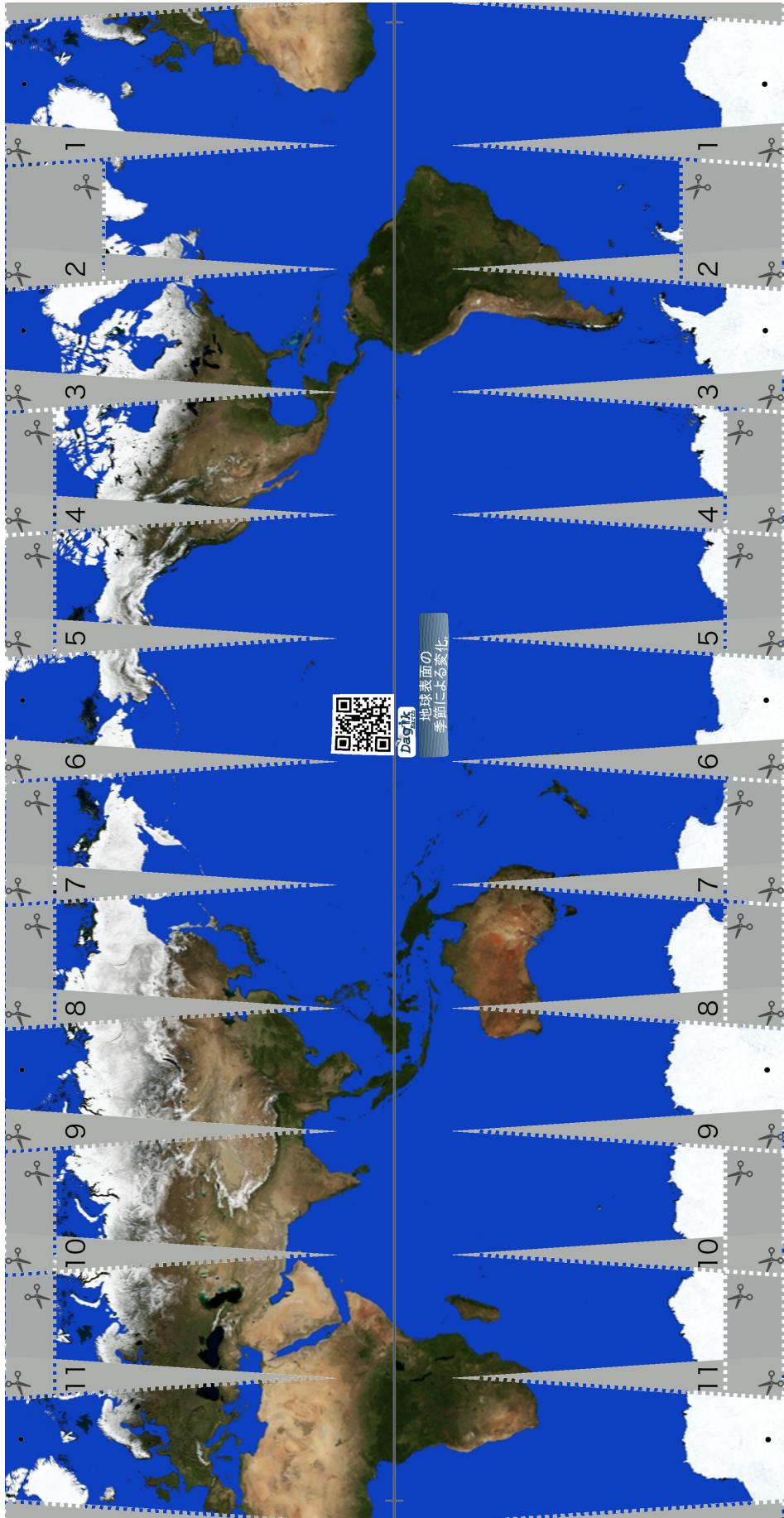


貼れました。  
ラベルシートの場合は、最後  
にシワをスプーンの後ろのよ  
うな、硬いなめらかなものでこ  
すると、きれいになります。


**2004年4月**

人工衛星によって観測された地表面の様子です。2004年の各月の衛星の観測画像から雲のない所だけを取り出して繋ぎ合わせています。

北極から見下ろすと、雪が積もっている白い部分が7月(北半球の夏)には小さくなり、1月(北半球の冬)には広くなっているのが分かります(北極海などの海上の氷はこの画像には含まれていません)。南極から南半球を見ると、このような雪が積もっている白い部分の変化はほとんど見られません。


 地表面の  
季節による変化

地表画像: NASA Blue Marble: Next

 Generation (MODISによって  
撮影された地表画像)。

海の色は変更してあります

地表画像作成:

Reto Stockli (NASA/GSFC)

地表画像提供:

NASA Earth Observatory

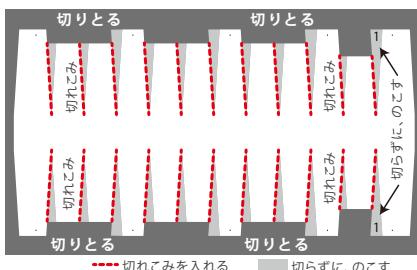
[http://earthobservatory.nasa.gov/  
Features/BlueMarble/](http://earthobservatory.nasa.gov/Features/BlueMarble/)

 コンテンツ説明：<http://dagik.org/L/2>

このファイルを拡大・縮小をせずに印刷すると直径7.5cmの球に貼れるサイズになります。

### 手作り地球儀の作り方

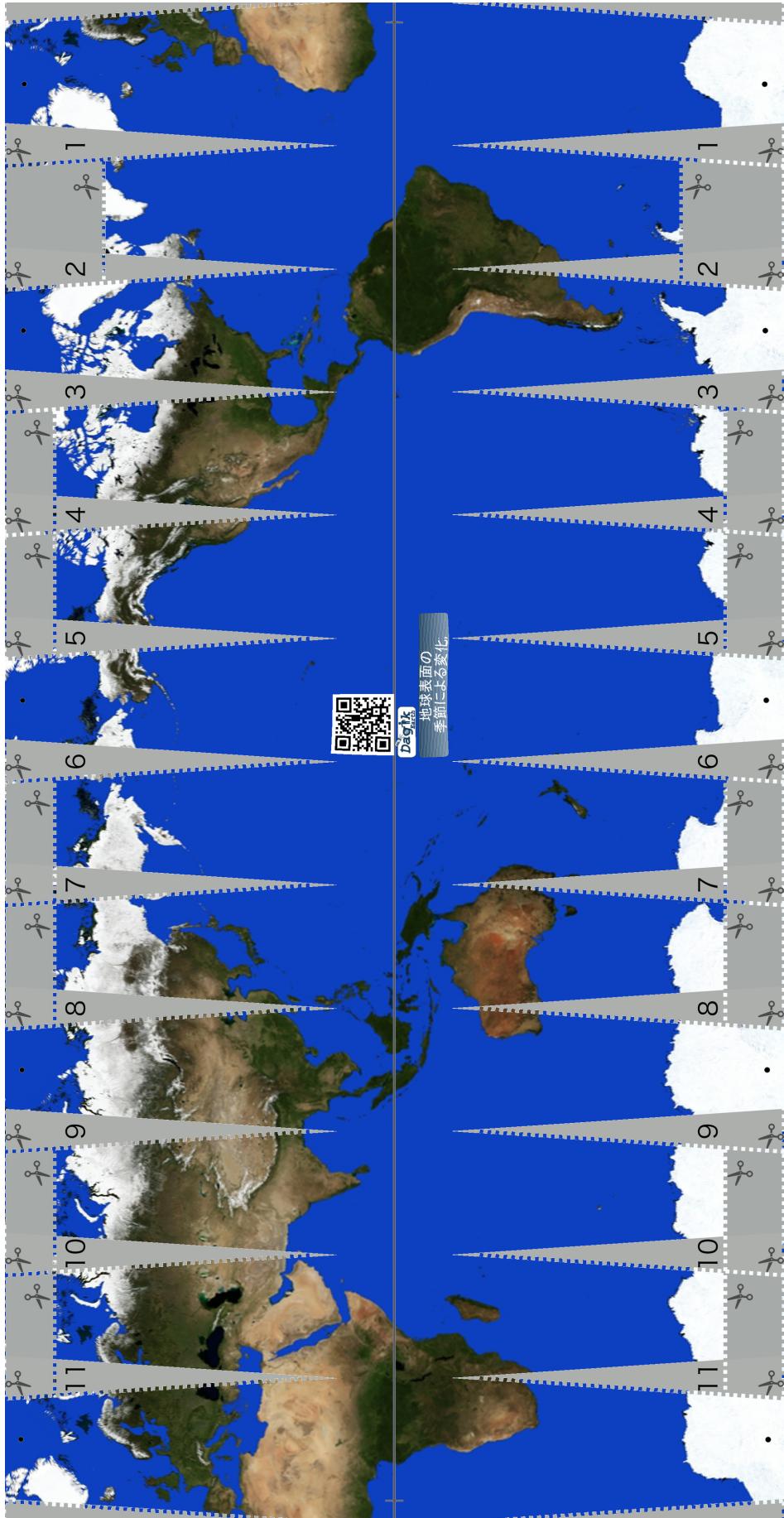
このシートの点線を切って、  
発泡スチロールなどの球に貼って、  
手作りの地球儀を作りましょう。




**2004年5月**

人工衛星によって観測された地表面の様子です。2004年の各月の衛星の観測画像から雲のない所だけを取り出して繋ぎ合わせています。

北極から見下ろすと、雪が積もっている白い部分が7月(北半球の夏)には小さくなり、1月(北半球の冬)には広くなっているのが分かります(北極海などの海上の氷はこの画像には含まれていません)。南極から南半球を見ると、このような雪が積もっている白い部分の変化はほとんど見られません。



地表画像: NASA Blue Marble: Next Generation (MODISによって撮影された地表画像)。

海の色は変更してあります

地表画像作成:

Reto Stockli (NASA/GSFC)

地表画像提供:

NASA Earth Observatory

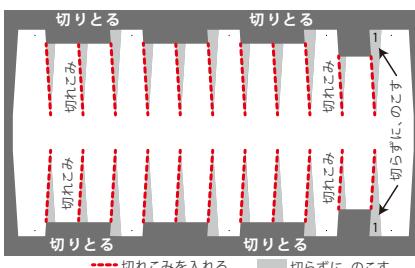
<http://earthobservatory.nasa.gov/Features/BlueMarble/>

 コンテンツ説明 : <http://dagik.org/L/2>

このファイルを拡大・縮小をせずに印刷すると直径7.5cmの球に貼れるサイズになります。

### 手作り地球儀の作り方

このシートの点線を切って、発泡スチロールなどの球に貼って、手作りの地球儀を作りましょう。



点線で切り取り、部分1から貼っていきます。画像の中央の線(赤道)を、球の境目に合わせるようにします。



次に、部分2を部分1の画像と合わせながら重ねて貼ります。シワは手で押さえてください。その後、順番に最後まで貼っていきましょう。

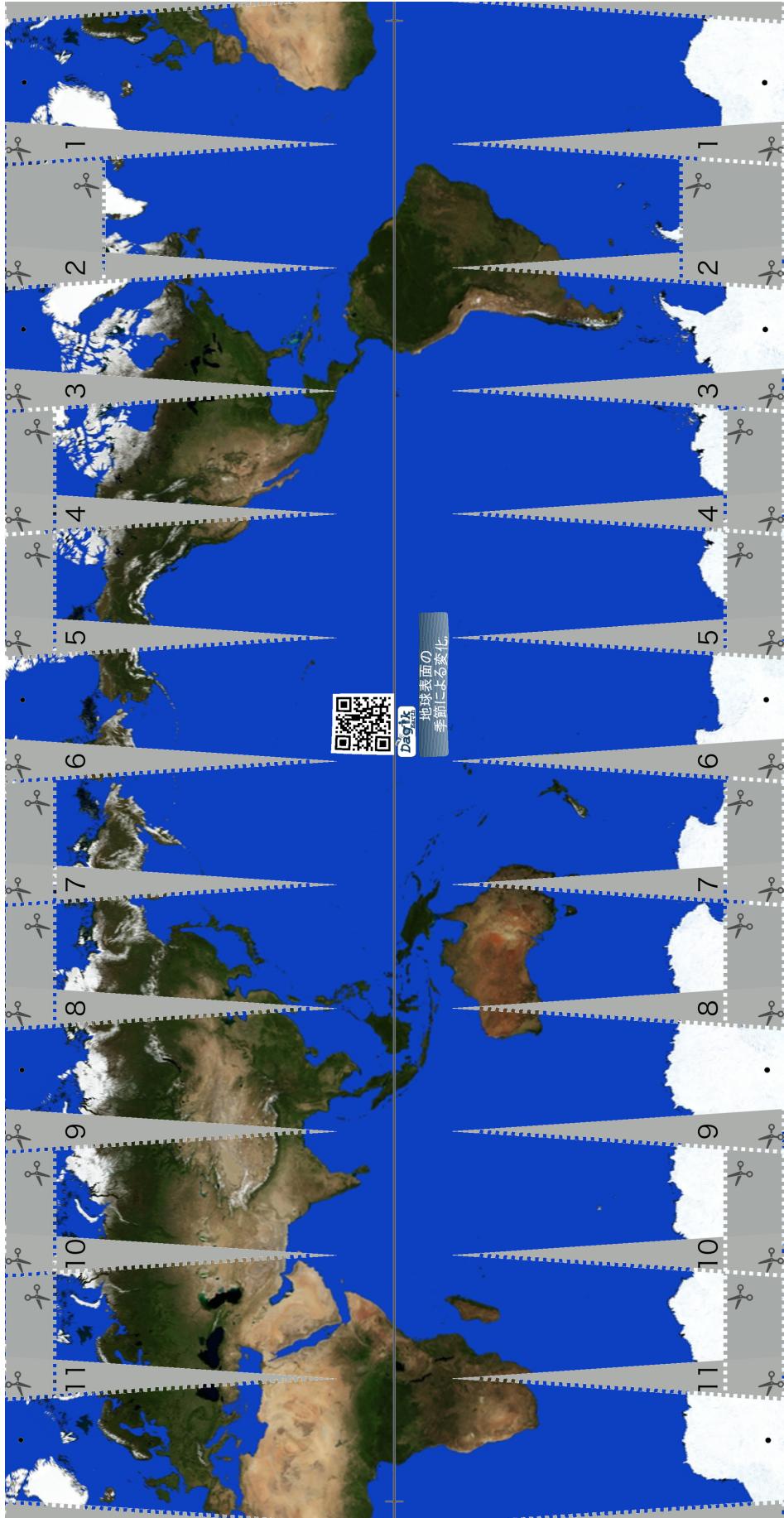


貼れました。ラベルシートの場合は、最後にシワをスプーンの後ろのよう、硬いなめらかなものでこうすると、きれいになります。


**2004年6月**

人工衛星によって観測された地表面の様子です。2004年の各月の衛星の観測画像から雲のない所だけを取り出して繋ぎ合わせています。

北極から見下ろすと、雪が積もっている白い部分が7月(北半球の夏)には小さくなり、1月(北半球の冬)には広くなっているのが分かります(北極海などの海上の氷はこの画像には含まれていません)。南極から南半球を見ると、このような雪が積もっている白い部分の変化はほとんど見られません。



地表画像: NASA Blue Marble: Next Generation (MODISによって撮影された地表画像)。

海の色は変更してあります

地表画像作成:

Reto Stockli (NASA/GSFC)

地表画像提供:

NASA Earth Observatory

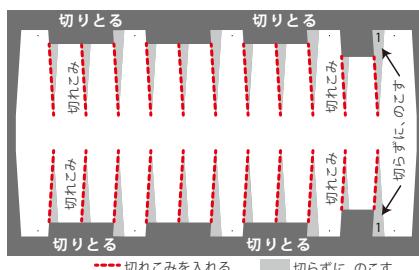
<http://earthobservatory.nasa.gov/Features/BlueMarble/>

 コンテンツ説明：<http://dagik.org/L/2>

このファイルを拡大・縮小をせずに印刷すると直径7.5cmの球に貼れるサイズになります。

### 手作り地球儀の作り方

このシートの点線を切って、発泡スチロールなどの球に貼って、手作りの地球儀を作りましょう。



点線で切り取り、部分1から貼っていきます。画像の中央の線(赤道)を、球の縁目に合わせるようにします。



次に、部分2を部分1の画像と合わせながら重ねて貼ります。シワは手で押さえてください。その後、順番に最後まで貼っていきましょう。

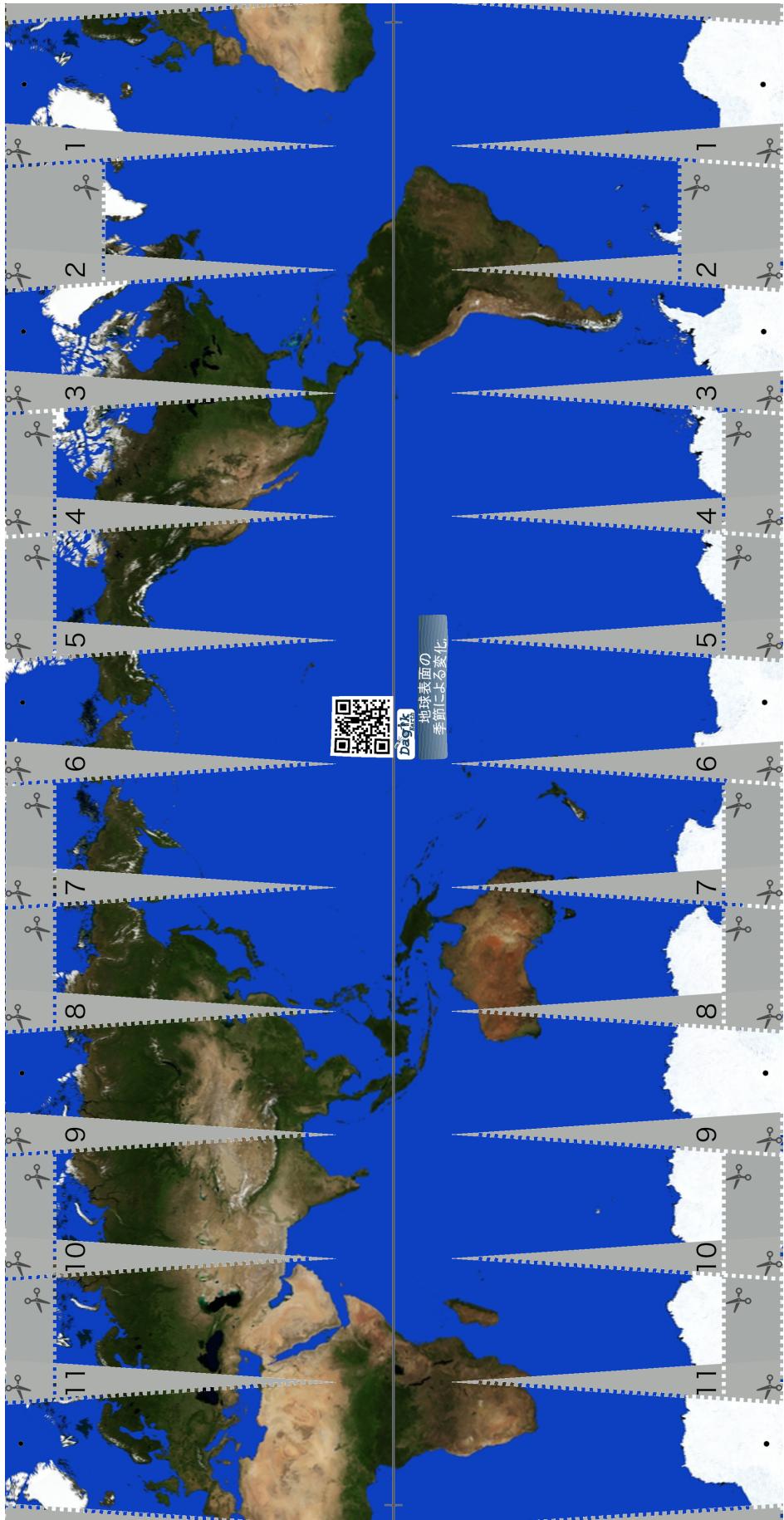


貼れました。ラベルシートの場合は、最後にシワをスプーンの後ろのうな、硬いなめらかなものでこうすると、きれいになります。


**2004年7月**

人工衛星によって観測された地表面の様子です。2004年の各月の衛星の観測画像から雲のない所だけを取り出して繋ぎ合わせています。

北極から見下ろすと、雪が積もっている白い部分が7月(北半球の夏)には小さくなり、1月(北半球の冬)には広くなっているのが分かります(北極海などの海上の氷はこの画像には含まれていません)。南極から南半球を見ると、このような雪が積もっている白い部分の変化はほとんど見られません。



地表面像: NASA Blue Marble: Next Generation (MODISによって撮影された地表面像)。

海の色は変更してあります

地表面像作成:

Reto Stockli (NASA/GSFC)

地表面像提供:

NASA Earth Observatory

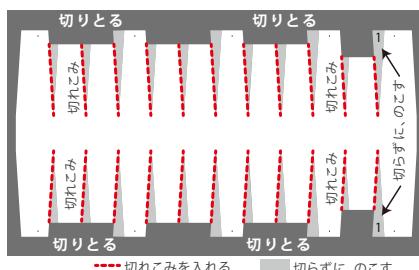
<http://earthobservatory.nasa.gov/Features/BlueMarble/>

 コンテンツ説明：<http://dagik.org/L/2>

このファイルを拡大・縮小をせずに印刷すると直径7.5cmの球に貼れるサイズになります。

### 手作り地球儀の作り方

このシートの点線を切って、発泡スチロールなどの球に貼って、手作りの地球儀を作りましょう。



点線で切り取り、部分1から貼っていきます。画像の中央の線(赤道)を、球の境目に合わせるようにします。



次に、部分2を部分1の画像と合わせながら重ねて貼ります。シワは手で押してください。その後、順番に最後まで貼っていきましょう。

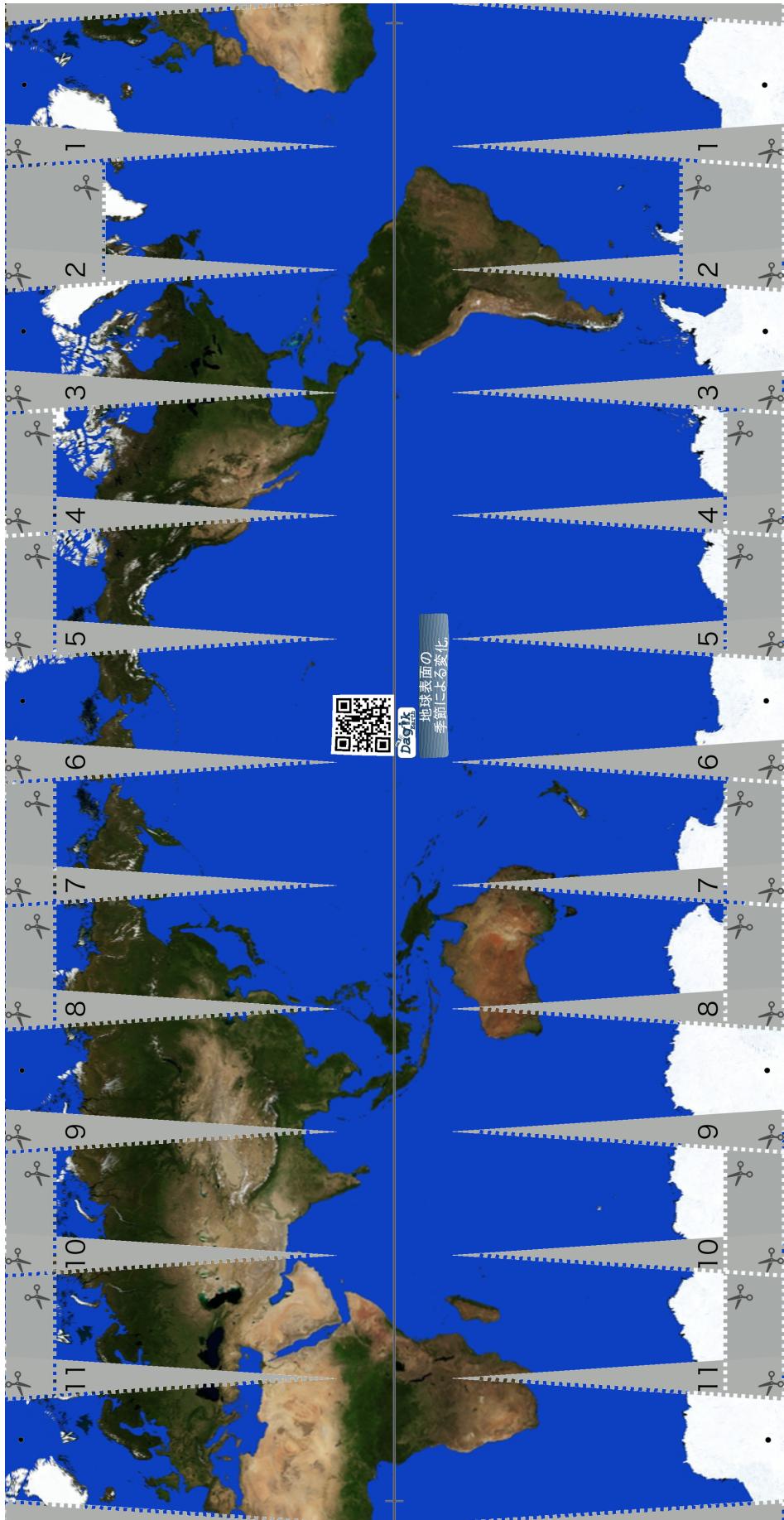


貼れました。ラベルシートの場合は、最後にシワをスプーンの後ろのようなくぼみでくしのままでおきます。すると、きれいになります。


**2004年8月**

人工衛星によって観測された地表面の様子です。2004年の各月の衛星の観測画像から雲のない所だけを取り出して繋ぎ合わせています。

北極から見下ろすと、雪が積もっている白い部分が7月(北半球の夏)には小さくなり、1月(北半球の冬)には広くなっているのが分かります(北極海などの海上の氷はこの画像には含まれていません)。南極から南半球を見ると、このような雪が積もっている白い部分の変化はほとんど見られません。


 地表面の  
季節による変化


地表画像: NASA Blue Marble: Next Generation (MODISによって撮影された地表画像)。

海の色は変更してあります

地表画像作成:

Reto Stockli (NASA/GSFC)

地表画像提供:

NASA Earth Observatory

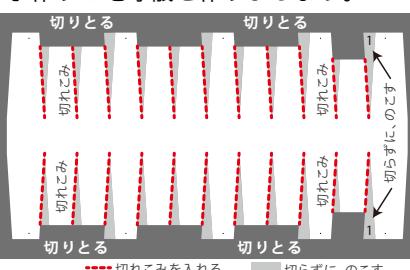
[http://earthobservatory.nasa.gov/  
Features/BlueMarble/](http://earthobservatory.nasa.gov/Features/BlueMarble/)

 コンテンツ説明：<http://dagik.org/L/2>

このファイルを拡大・縮小をせずに印刷すると直径7.5cmの球に貼れるサイズになります。

### 手作り地球儀の作り方

このシートの点線を切って、発泡スチロールなどの球に貼って、手作りの地球儀を作りましょう。



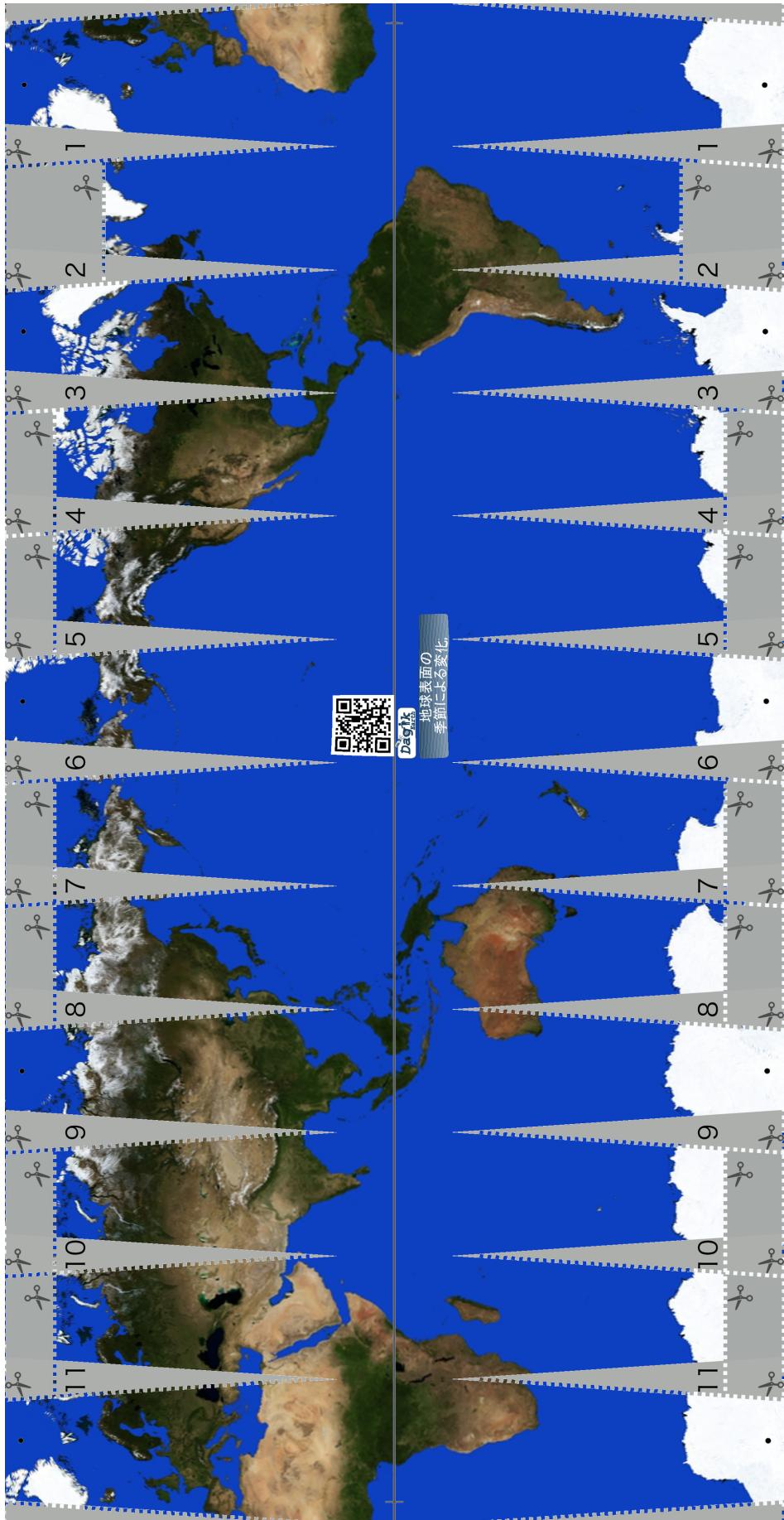
点線で切り取り、部分1から貼っていきます。画像の中央の線(赤道)を、球の縁目に合わせるようにします。



次に、部分2を部分1の画像と合わせながら重ねて貼ります。シワは手で押してください。その後、順番に最後まで貼っていきましょう。



貼りました。ラベルシートの場合は、最後にシワをスプーンの後ろのようなくぼみでくしのめらかなるものでこすると、きれいになります。


**2004年9月**

人工衛星によって観測された地表面の様子です。2004年の各月の衛星の観測画像から雲のない所だけを取り出して繋ぎ合わせています。

北極から見下ろすと、雪が積もっている白い部分が7月(北半球の夏)には小さくなり、1月(北半球の冬)には広くなっているのが分かります(北極海などの海上の氷はこの画像には含まれていません)。南極から南半球を見ると、このような雪が積もっている白い部分の変化はほとんど見られません。

地表画像: NASA Blue Marble: Next Generation (MODISによって撮影された地表画像)。

海の色は変更してあります

地表画像作成:

Reto Stockli (NASA/GSFC)

地表画像提供:

NASA Earth Observatory

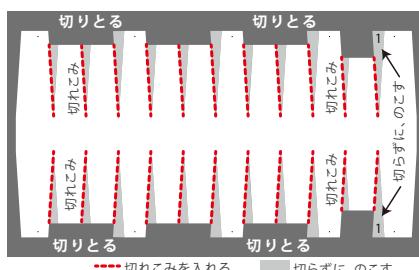
<http://earthobservatory.nasa.gov/Features/BlueMarble/>

 コンテンツ説明：<http://dagik.org/L/2>

このファイルを拡大・縮小をせずに印刷すると直径7.5cmの球に貼れるサイズになります。

### 手作り地球儀の作り方

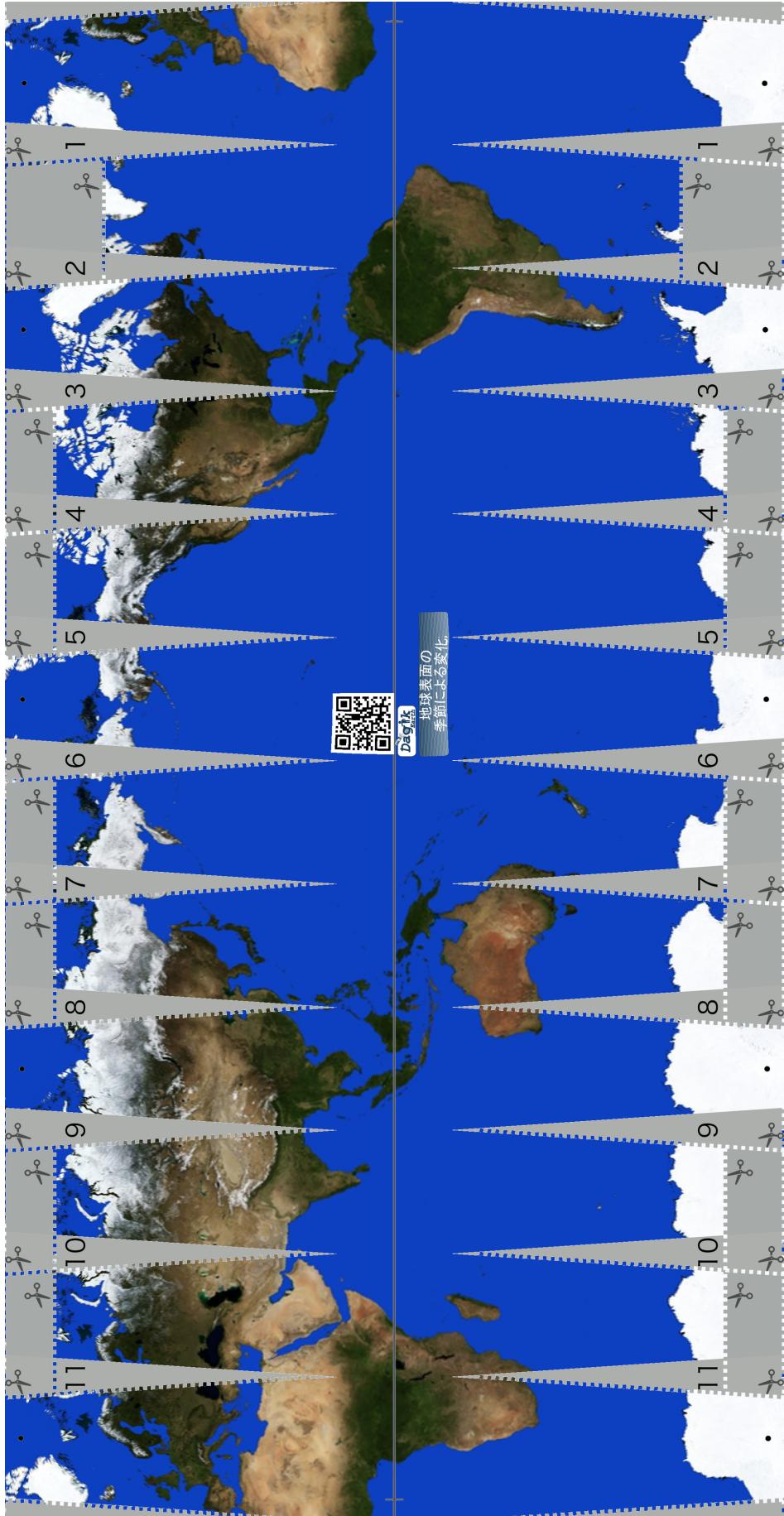
このシートの点線を切って、発泡スチロールなどの球に貼って、手作りの地球儀を作りましょう。




**2004年10月**

人工衛星によって観測された地表面の様子です。2004年の各月の衛星の観測画像から雲のない所だけを取り出して繋ぎ合わせています。

北極から見下ろすと、雪が積もっている白い部分が7月(北半球の夏)には小さくなり、1月(北半球の冬)には広くなっているのが分かります(北極海などの海上の氷はこの画像には含まれていません)。南極から南半球を見ると、このような雪が積もっている白い部分の変化はほとんど見られません。



地表面像: NASA Blue Marble: Next Generation (MODISによって撮影された地表面像)。

海の色は変更してあります

地表面像作成:

Reto Stockli (NASA/GSFC)

地表面像提供:

NASA Earth Observatory

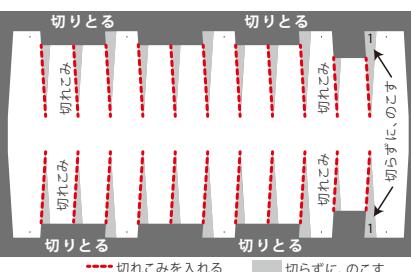
<http://earthobservatory.nasa.gov/Features/BlueMarble/>

コンテンツ説明：<http://dagik.org/L/2>

このファイルを拡大・縮小をせずに印刷すると直径7.5cmの球に貼れるサイズになります。

### 手作り地球儀の作り方

このシートの点線を切って、発泡スチロールなどの球に貼って、手作りの地球儀を作りましょう。



点線で切り取り、部分1から貼っていきます。画像の中央の線(赤道)を、球の境目に合わせるようにします。

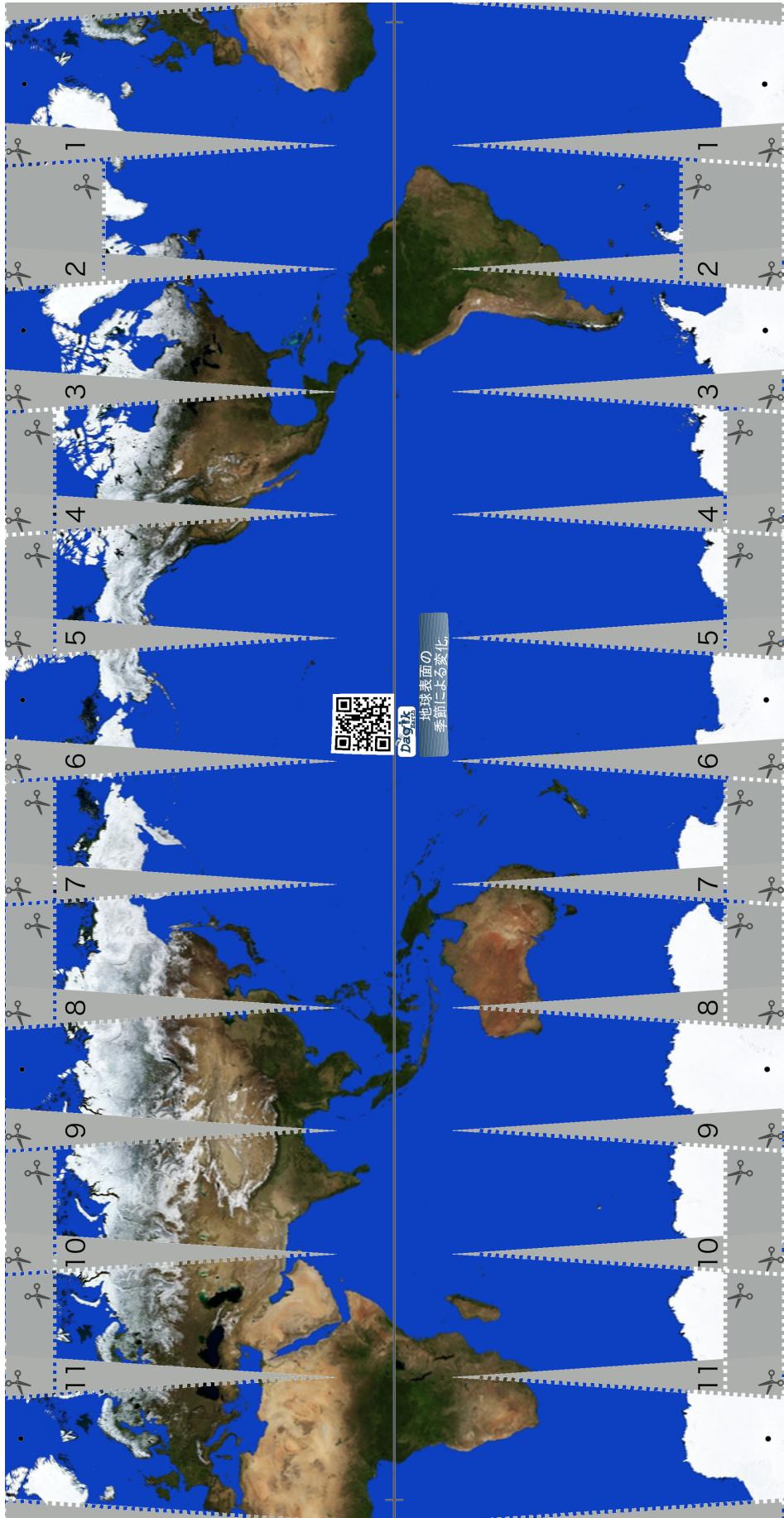
次に、部分2を部分1の画像と合わせながら重ねて貼ります。シワは手で押さえてください。その後、順番に最後まで貼っていきましょう。

貼れました。ラベルシートの場合は、最後にシワをスプーンの後ろのようなくぼみでくしのままでおきます。


**2004年11月**

人工衛星によって観測された地表面の様子です。2004年の各月の衛星の観測画像から雲のない所だけを取り出して繋ぎ合わせています。

北極から見下ろすと、雪が積もっている白い部分が7月(北半球の夏)には小さくなり、1月(北半球の冬)には広くなっているのが分かります(北極海などの海上の氷はこの画像には含まれていません)。南極から南半球を見ると、このような雪が積もっている白い部分の変化はほとんど見られません。



地表面像: NASA Blue Marble: Next Generation (MODISによって撮影された地表面像)。

海の色は変更してあります

地表面像作成:

Reto Stockli (NASA/GSFC)

地表面像提供:

NASA Earth Observatory

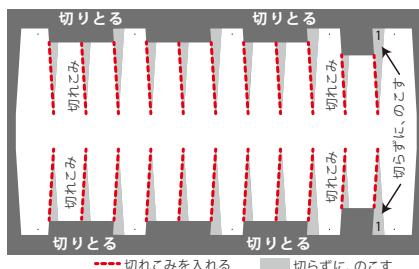
<http://earthobservatory.nasa.gov/Features/BlueMarble/>

コンテンツ説明：<http://dagik.org/L/2>

このファイルを拡大・縮小をせずに印刷すると直径7.5cmの球に貼れるサイズになります。

### 手作り地球儀の作り方

このシートの点線を切って、発泡スチロールなどの球に貼って、手作りの地球儀を作りましょう。



点線で切り取り、部分1から貼っていきます。画像の中央の線(赤道)を、球の境目に合わせるようにします。

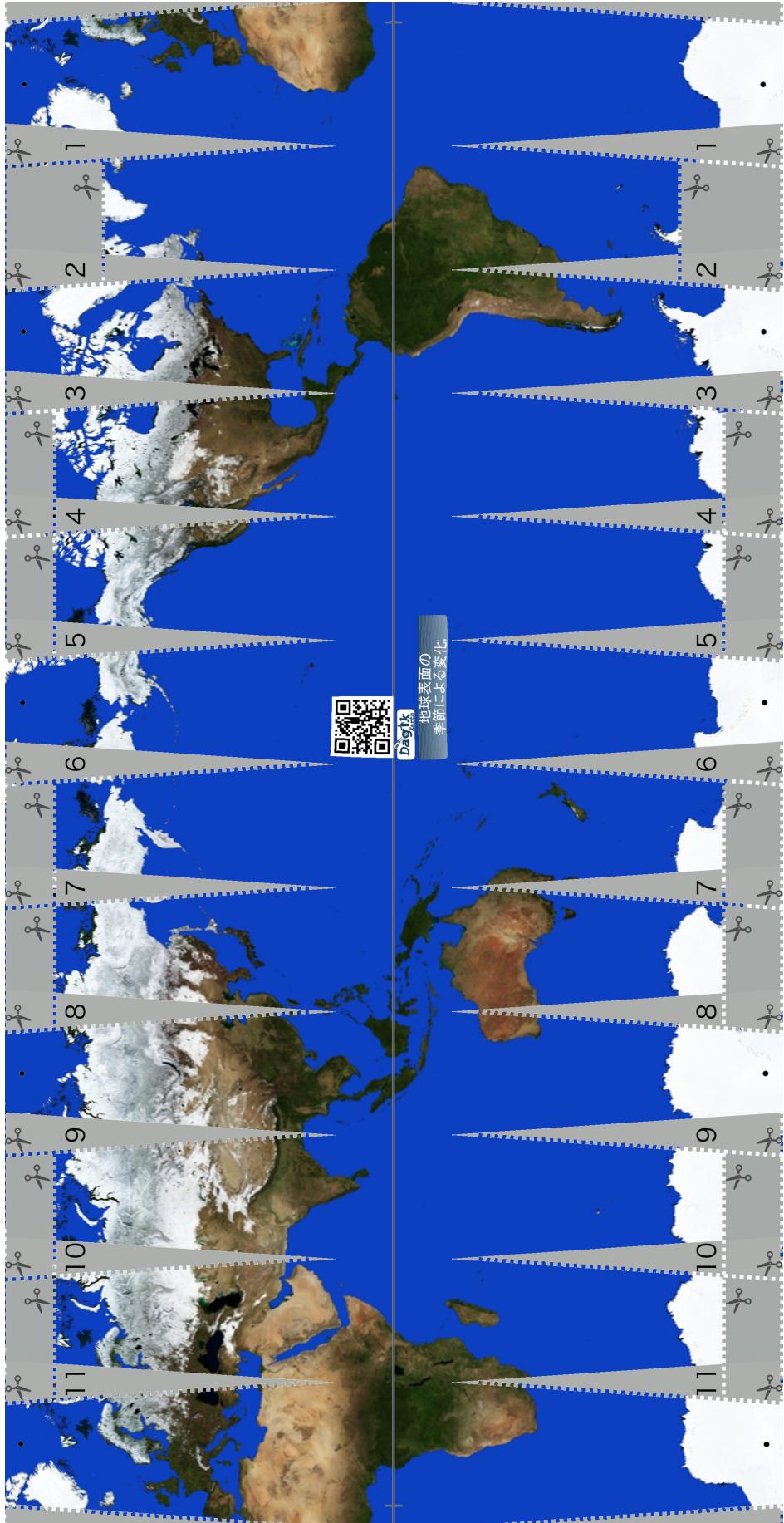
次に、部分2を部分1の画像と合わせながら重ねて貼ります。シワは手で押さえてください。その後、順番に最後まで貼っていきましょう。

貼れました。ラベルシートの場合は、最後にシワをスプーンの後ろのようなくずしてやると、きれいになります。


**2004年12月**

人工衛星によって観測された地表面の様子です。2004年の各月の衛星の観測画像から雲のない所だけを取り出して繋ぎ合わせています。

北極から見下ろすと、雪が積もっている白い部分が7月(北半球の夏)には小さくなり、1月(北半球の冬)には広くなっているのが分かります(北極海などの海上の氷はこの画像には含まれていません)。南極から南半球を見ると、このような雪が積もっている白い部分の変化はほとんど見られません。



地表面像: NASA Blue Marble: Next Generation (MODISによって撮影された地表面像)。

海の色は変更してあります

地表面像作成:

Reto Stockli (NASA/GSFC)

地表面像提供:

NASA Earth Observatory

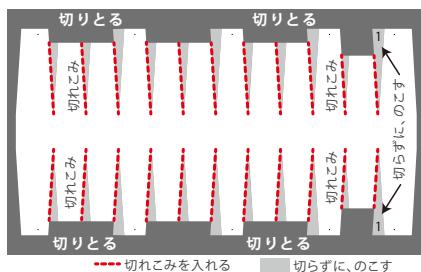
<http://earthobservatory.nasa.gov/Features/BlueMarble/>

コンテンツ説明：<http://dagik.org/L/2>

このファイルを拡大・縮小をせずに印刷すると直径7.5cmの球に貼れるサイズになります。

### 手作り地球儀の作り方

このシートの点線を切って、発泡スチロールなどの球に貼って、手作りの地球儀を作りましょう。



点線で切り取り、部分1から貼っていきます。画像の中央の線(赤道)を、球の境目に合わせるようにします。



次に、部分2を部分1の画像と合わせながら重ねて貼ります。シワは手で押さえてください。その後、順番に最後まで貼っていきましょう。



貼れました。ラベルシートの場合は、最後にシワをスプーンの後ろのよう、硬いなめらかなものでこすると、きれいになります。